

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議録は次月に、ホーム便りは毎月郵送しているが、利用者様の暮らしぶりや健康状態、職員の異動等についての報告が殆どないと思っている家族様がおられる。	家族様との関わりを密にし、其々の利用者様や職員の現状をご理解頂く。	・家族様にご面会に来られた際に、できる限り最近の様子をお伝えする。 ・面会に来られない家族様には、定期的に電話やお手紙で様子をお伝えする。 ・職員の入れ替わりについては、運営推進会議録に詳しく記載させて頂く。	12ヶ月
2	13	内部研修の年間計画を立て、月1回の勉強会を継続しているが、参加に消極的な職員がいる。また、職員数にゆとりが無い為、中々外部研修に参加できない。	多くの職員が向上心を持って勉強会に参加し、個々の職員が知識と実践力を高めることができる。	・参加できない夜勤職員とよく参加している職員が勉強会の間交替する。 ・勉強会報告書を回覧し、全職員がその内容を確認する。 ・管理者及び介護リーダーはできる限りのシフト調整を行う。	12ヶ月
3	27	記録は重要であるが、時間が掛かると利用者様と関わりが減ってしまう。	ホーム内で統一した略語を上手く使用して、記録時間が短縮できる。	・「杜の里略語集」を職員が共有し、誰が見ても分かる内容を効率よく記録できる。 ・「杜の里略語集」を定期的に見直し、適宜、追加・修正する。	12ヶ月
4	35	年2回の消防訓練と年1回の地震・風水害を想定した避難訓練を行っているが、緊急時の連絡方法や応援要請の手順等を含んだ防災計画が作成できていない。	グループホームの特性や当ホームの立地に見合った防災計画が策定できる。	・防火管理者が中心となり、現状の火災・地震・風水害発生時のマニュアルに緊急時連絡方法や避難開始時期及び判断基準等を含んだ防災計画を策定する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。